



新企画 点描さんぽ～権平川暗渠編～

編集委員がこれまでたくさんの点描を書いてきましたが、そこを繋げて歩いてみたことないよね！ということで、点描で紹介した場所を実際散歩してみました。始めに点描128「権平川(暗渠)」をもとに散歩をしてみると、新たな発見があったり、地域を知ることができました。皆さんも散歩に出掛けてみませんか？

「点描」は、2009年6月号から、つるせ公民館だよりの1面で連載しているコーナーです。編集委員が気になった市内の建物、自然などを紹介しています。

権平川の暗渠とは？

暗渠とは、流れる川を地下に埋設したり、ふたをした水路のことをいう。ふたをした上を歩けるように利用されている所も多い。昔この辺りには権平川が流れていて、水害になったこともあったそうだ。高度経済成長期に暗渠化されまわりに住宅が建ったのだという。

①権平山(点描81)

ちょっと寄り道。線路沿いをふじみ野駅方面に歩くと左には雑木林に囲まれた緑地があります。緑地の中は小さなアップダウンもあり、いい運動になるかもしれません。



権平山の藤棚



②暗渠に残るレトロな橋<権平川橋梁>(点描62)

貝戸の森公園を出て左の暗渠を辿ると突然レトロなレンガ造りの橋が現れます。橋は東武東上線が行き交い、電車を撮影するにはお勧めのポイントです。



以前の風景

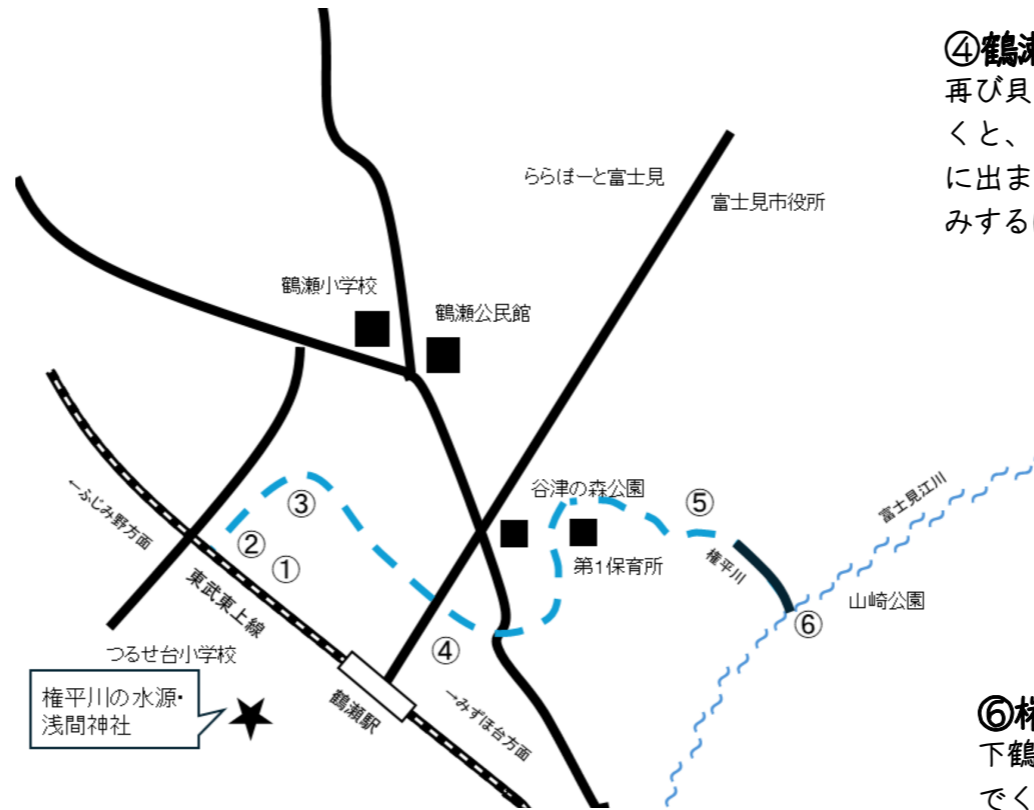
東上線の橋梁

③貝戸の森公園(点描21)

大きな木々が出迎えてくれる公園です。滑り台などの遊具もあり子どもと一緒にのお散歩におすすめです。暗渠沿いには季節の花が咲き、歩く度に表情が変わります。



橋梁から貝戸の森公園までの暗渠



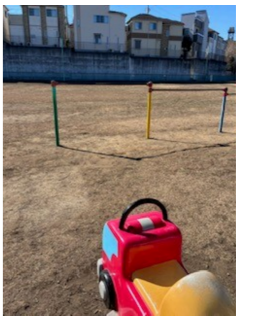
④鶴瀬東一丁目公園(点描145)

再び貝戸の森公園裏手の暗渠を辿りながら歩くと、東口かららぽーとへ向かうバス通りに出ます。東屋、トイレ、自販機もあり一休みするにはちょうどいい場所です。



⑤宮下ちびっこ広場

暗渠を下鶴馬氷川神社方面へ歩く途中に広がる緑地。権平川の流れるを見ることができます。公園にはブランコ・鉄棒・滑り台などがあります。



⑥権平川と江川の合流(点描128)

下鶴馬氷川神社裏側。鴨や、雑木林から飛んでくる鳥を見ることができます。私達が散歩をした時期は、渡り鳥「ジョウビタキ」を確認することができました。



細い権平川の水が江川に注ぐ

★浅間神社

権平川の水源は鶴瀬駅西口方向にある三芳町藤久保の浅間神社とされています。

「この浅間神社は秩父から修験者が藤久保に移り住んだ際に勧進したものと伝えられる。浅間信仰は富士山を対象とする信仰で、富士山を見立てた高塚の頂にまつられることが多い。この浅間神社もかつては十五メートルもの高塚にまつられ、塚や周辺には樹木が生い茂り、また塚下の崖からは権平川の水源となる湧水も流れ出ていたと聞く」(境内掲示板より)



歩いてみてひとこと

①⑥

そんなに坂もなく歩きやすい3〜4km程度の権平川暗渠です。途中には公園もあり、道々には地帯の方が植えた四季の草木、花等色とりどりの植物を愛でながら、散歩してみたいかがでしょうか。(小林)

自分の住む街を歩いてみる。そこに暗渠を辿るテーマを一つ加えてさらに散歩となると、ワクワクしました。歩いてみると私の住む地域は水と田んぼがメインの町だったのかなと思いを馳せることもできました。貝戸の森公園は木が出迎えてくれる、とっても気持ちいい場所でした。(新井)